

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成30年10月18日(2018.10.18)

【公開番号】特開2017-120485(P2017-120485A)

【公開日】平成29年7月6日(2017.7.6)

【年通号数】公開・登録公報2017-025

【出願番号】特願2015-256099(P2015-256099)

【国際特許分類】

G 08 C 19/00 (2006.01)

G 08 C 15/00 (2006.01)

G 08 C 17/00 (2006.01)

H 04 Q 9/00 (2006.01)

【F I】

G 08 C 19/00 301B

G 08 C 15/00 C

G 08 C 17/00 A

H 04 Q 9/00 311H

【手続補正書】

【提出日】平成30年9月4日(2018.9.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項5】

請求項4において、

前記検針機は、前記検針情報に含まれている前記識別情報が前記検針機記憶部に記憶保持されている前記識別情報に一致する場合にのみ、当該検針情報を収集する検針機制御部を備えており、

前記検針機制御部は、1台の前記メータから前記検針情報を収集する毎に、当該検針情報を前記管理端末に転送し、

前記管理端末制御部は、前記検針情報を順次に前記管理端末記憶部に記憶保持させ、当該管理端末記憶部に記憶保持されている前記検針情報を、外部入力指令に基き、外部出力する検針用携帯装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項15

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項15】

請求項14において、

前記検針用端末装置は、前記検針機から受け取った前記検針情報のうち、当該検針用端末装置に記憶保持されている前記需要家識別情報あるいは前記メータ識別情報に一致する前記需要家識別情報あるいは前記メータ識別情報が含まれている前記検針情報のみを記憶保持する既設の検針システムを用いた非接触検針方法。